

科目名	画像検査学Ⅱ	教員名	飯田 典子	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
(科目番号)	(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	B2051研究室	
授業概要	1年次、2年次に学習した医用工学理論と生体現象解析理論の知識をもう一度整理し、臨地実習において臨床検査の現場を体験し習熟した超音波検査、MR I 検査、熱画像検査、眼底写真検査の知識を整理統合する。また、検査結果の解析や評価、疾病との関連性や検査への応用力を習得し、報告に至るまでの一連のプロセスを理解し実践できるようにする。							
目的・目標	目的:画像検査学Ⅰや臨地実習で習得した知識を整理統合し、検査結果の解析や評価、病態・疾患との関連や検査への応用力を習得する。 目標:画像検査学Ⅰや臨地実習で習得した知識を整理統合し、検査結果の解析や評価、病態・疾患との関連が理解できる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	画像検査に必要な医用生体工学		超音波検査に必要な「音の性質」、サーモグラフィに必要な赤外線センサーなどについて理解させる。				
	2	超音波検査の臨床例 (Ⅰ) 心臓		心臓Bモード画像による各種疾患臨床像の提示と解説によって理解させる。				
	3	超音波検査の臨床例 (Ⅱ) 心臓		心臓Mモード画像による各種疾患臨床像の提示と解説によって理解させる。				
	4	超音波検査の臨床例 (Ⅲ) 心臓 超音波検査の臨床例 (Ⅳ) 腹部		カラードプラー法による血流計測を心臓Bモード画像と共に理解させる。 腹部超音波像の臨床例 (腎結石、肝嚢胞、肝硬変) の提示により理解させる。				
	5	超音波検査の臨床例 (Ⅴ) 腹部		腹部超音波像の臨床例 (肝癌などの各種悪性腫瘍像) の提示により理解させる。				
	6	超音波検査の臨床例 (Ⅵ) その他		甲状腺・乳腺および産婦人科 (骨盤内超音波像)、その他頸動脈超音波像の臨床例の提示とその解説によって理解させる。				
	7	MRI検査像 眼底検査について		T1とT2強調画像の特徴とMRI画像の臨床例の提示により理解させる。 眼球の構造や眼底の血管系を復習させると共に、無散瞳眼底検査法と合わせて正常眼底像と各種疾患像の提示とその解説により理解させる。				
	8	サーモグラフィと臨床疾患		レイノー病、閉塞性動脈硬化症、乳癌などの臨床例の提示により理解させる。				
成績評価の方法・基準	期末試験 (100%) で評価する。							
教科書	最新 臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版 練習問題および画像などの資料を適宜配布			東條尚子・川良徳弘 編著		医歯薬出版		
参考図書	標準臨床検査学 生理検査学・画像検査学			谷口信行 編集		医学書院		
教員からのメッセージ	3年次に修得した画像検査学Ⅰについて国家試験ではどのように出題されているかを中心に解説する。 画像検査学Ⅰの復習を十分にしてから臨むこと。 総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。							